

明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第55号 平成20年3月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



金華山地域 達目洞特別保全地区指定1周年！

- ・特別保全地区指定から1年が経ちました（3月15日）
- ・みんな力を合わせて水路の整備

○特別保全地区指定から1年が経ちました

3月15日、達目洞にて保全活動が行われました。この日は「岐阜市自然環境の保全に関する条例」に基づく、ヒメコウホネ自生地の特別保全地区指定から、ちょうど1周年という節目の日に当たり、現地には新たに達目洞の案内板も設置されました。この案内板は達目洞自然の会と市が協働で企画・デザインしたものです。作成に関わっていただいた方々には、本当にお世話になりました。

達目洞自然の会の方からは、「地区指定されたことで、今まで以上にヒメコウホネや達目洞に関心を持ってもらうことができた」といった声が聞かれました。

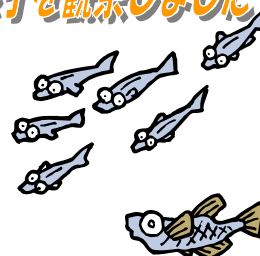
これからも、市民と力を合わせ、達目洞の自然環境を守り育てていきたいと思えます。



ヒメコウホネ自生地が特別保全地区に指定されて1年が経過しました。



メダカの群れやスナヤツメの産卵の様子を観察しました





水路の護岸に使う竹を運んでいます。ちびっ子も大活躍です。今まで護岸が崩れたままだった箇所にも杭を打ち、竹で護岸をつくり、土砂の流出を防ぎます。

○みんな力を合わせて水路の整備

この日の活動は、水辺の生きもの観察とヒメコウホネ自生地の泥あげをはじめとした水路の整備が中心となりました。

毎年、春先のこの時期は、逆川の上流部でスナヤツメの産卵の様子を観察することができます。

また、水路の整備は、逆川の水量が少ないこの時期ならではの作業です。護岸の竹材が傷んだ箇所を見つけ、新しく切り出した竹に交換する作業で、畦道の保護と水路に土砂が流出するのを防ぎます。春の達目洞に心地よい杭打ちの音を響かせながら、着々と護岸の修復作業が進みました。

合わせて水路に流入した泥の除去も行いました。水路にあまりに多くの土砂が堆積すると、ヒメコウホネの生息に良くないため、様子を見ながら徐々に泥を上げていきました。また、水路からすくい出した泥の中に隠れている色々な生き物は子ども達に探してもらい、水路に戻してもらいました。

今年度から活動に参加してくれた子どもたちは、1年間達目洞で様々な体験をする中で、自分たちにもできる保全活動を見つけることができたのではないかと思います。

○おわりに

今年度も多くの方々の力と熱い想いに支えられて、達目洞の保全活動に取り組んできました。特に、今年度の達目洞における最大の成果は、多くの子ども達が参加してくれるようになったことです。

達目洞の自然に惹かれ、保全活動に来てくれている子どもたちは、きっと自然の豊かさ、素晴らしさを感じ取ることでできる大人へと成長をしてくれることでしょう。



川からすくいあげた泥の中に隠れている生き物を子どもたちが探し出し、水路に戻しました。

岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 自然環境室 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6452） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

自然環境室 HP アドレス：http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html